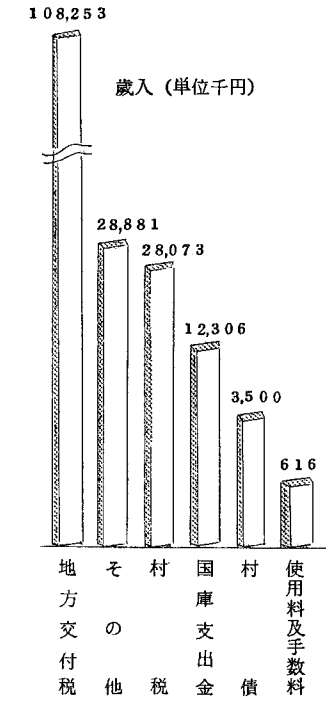
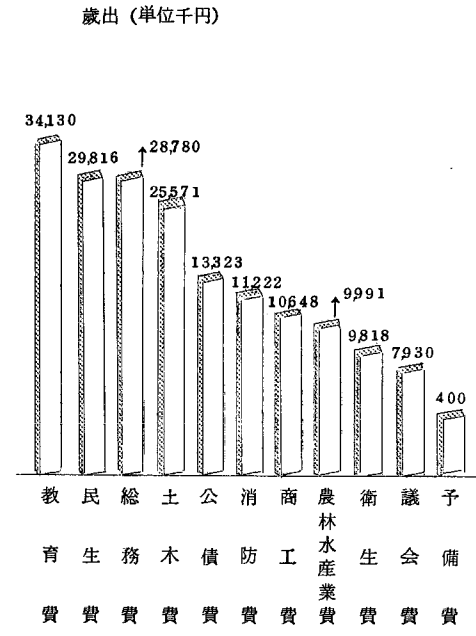


産業発展の基盤整備 道路工事を最優先

昨年度設定された、月瀧村長期構想用計画にもつき豊かな村、発展する月瀧村をつくるための予算が三月二三日議決され、その施策の概要と予算説明を次のとおりおしらせします。



昭和47年度予算は1億81,629千円に



総務費

総務費は行政事務を行うために必要な経費です。三役、職員の給料等、役場事務の各種経費と、最近よく言われる情報化時代に即応し広報活動の充実、特に本年は村勢要覧を発行して長期構想の具体化の推進を図りたいと考えております。

衛生費

ごみの全村収集を目的に、昨年末より白根衛生センター組合(白根市、小須戸町、中之口村、味方村、月瀧村)で建設中のごみ処理場の建設費に、一、三二八千円、運営費としてごみ処理場二、六七三千元、し尿一、二二八千円、火葬場二、一六千円の分担金を計上しました。又薬剤散布で煙霧機一台購入のため一六五千元、薬剤費補助一六四千元、母子栄養強化牛乳支給として、今年度から所得税非課税世帯に妊産婦、乳児に夫々9ヶ月間牛乳を支給することに二六三千元、各種予防注射の費用で七六〇千円を予算化しました。尚今年も血圧、胃、婦人、乳児検診等を実施しますので、積極的に受検され健康を保持するように努めて下さい。

民生費

民生費予算は二九八一六千円です。児童福祉関係では今年一月より発足した児童手当に二、一四五千円、保育園ではマイクロボスの購入で一、三五〇千円、カラーテレビ二台一六〇千円、その他保育園関係で一七、四四八千円を計上しました。また幼児用プールを作るよう計画中です。老人福祉では、ねたきり老人一人暮らし老人の医療費無料に四、五〇千円、敬老会二、五〇千円、ねたきり老人家庭奉仕員二七三千元、老人健康診査一〇〇千円、老人ク

農林水産業費

農林関係の諸状況は本年も明るい見通しが得られない。米生産調整は数量減こそあれ本年も継続さ

れ一面米消費者価格は物価統制令適用から外されたことにより良質米の価格がいよいよ發揮されるでしょうが「なしくずし統制撤廃」の感もないでもない。果実類、畜産物に於ても輸入自由化が拡大され国際市場の荒波をうけている。本村は之等の状況の中にあつて米の生産基地、果樹生産地、畜産生産地として生産性の向上と農業所得の増大合理化を図るため次の施策を推進する。

- 一、農業振興費(一、七二二千元)
 1. 集団的生産組織育成事業(月瀧生産組合)を推進する。 二二〇千円
 2. 農業後継者育成事業としてサークル結成に要する経費を助成する。 三〇〇千円
 3. 良質米の生産を増大するため、「こしひかり」、「越路早生」種子購入費の一部を助成する。 二二〇千円
 4. 品評会、共進会は例年通り実施する。 九〇千円
 5. 施肥基準展示園(田植機使用)を二〇ヶ所設置する。 五〇千円
- 二、園芸振興費 (六三〇千円)
 1. 青果物共同出荷基準を作成し果樹主産地声価昂揚に努める。 五〇千円
 2. 果面保護剤、労力調整展示園を設置。 一〇千円
 3. 人工花粉開花施設、花キキ球根生産団地、果実類市場価格調査等に要する経費を助成する。

三、畜産振興費 (四七二千元)
1. 家畜防疫対策として予防注射に要する費用を助成する。七六千円
2. 畜産団地設置促進事業に積極的に取組み、畜産公害の解消につとめると共に畜産官農の推進を図る。 二五〇千円
(基本的構想として二団地設置予定)

四、米生産調整指導費 (一八九千元)
米生産調整による転換作物栽培資材を作成する。 四〇千円
商工業の振興と中小企業金融対策費として九、二四四千円
内地方産業育成費、商工中金への貸付金八、五〇〇千円、商工業者の運転資金の確保緩和につとめる。
昨年度より新設した店舗改善資金の利子補給(一%)は継続的に実施し店舗改善の資として頂きます。

商工費

振興対策は商工業者研修旅費、講演会開催経費四八千円計上し業者の経営合理化の推進を図る。

土木費

本年は、消防団組織の再編成を實行し団員数も一六二名に減らしかくまでも少数精鋭で充実した防火態勢を計画し予算を計上した。

消防費

項目	金額	割合
その他	481千円	0.2%
扶助費	664千円	0.4%
繰出金	1,600千円	0.9%
維持補修費	3,207千円	1.8%
貸付金	8,716千円	4.8%
公債費	13,288千円	7.3%
補助費等	19,610千円	10.8%
建設事業費	24,342千円	13.4%
物件費	40,585千円	22.3%
人件費	69,136千円	38.1%
全額		

教育費

次代になう児童生徒によりよき教育環境を与えるため教育費は村予算の約九%近くを占めております。本年度は特に多年の要望でありました中学校の給食実施のため共同調理場の開設し、栄養士の採用、給食室の改修及び設備等の充実、新指導要領による教材備品等の整備、高校入学者奨学金貸付該当者の増加、学校教育の更に振興をはかるため宿日直代行員制度の拡張等が主な重点事項となっております。なお社教公民館関係では青年団、婦人会等の活動促進、老人学級の開催、青少年の健全育成及び体育振興のため村民運動会、水泳大会等の開催を前年通り計画しております。